

塩屋菓子店

老舗菓子店のこれからを変える3つの取組み【支援団体 遠野町商工会】

事業課題

地域人口減少と高齢化への対応

当店は、和菓子 7 割、洋菓子 3 割の商品展開をしております。課題はいくつかあり、

① 高齢化による来店客の減少

今後ますます進むであろう地区内の人ロ減少と、**店舗が市街地から離れている**ためネットを利用できない高齢者の方は、車かバスでないと来店することができないという問題があります。

② ネット販売の費用対効果が小さい

5 年前より風評被害払拭のため「そのまんま通販」と契約しているが、年間受注は約 50~60 件と費用対効果が小さくなっています。

③ 他社製品と間違われることがある

3 代続く老舗菓子店であり、商品の知名度はそこそこあるが、同地区他社商品と似ているため間違われること多々あります。

④ 洋菓子を扱っている印象が薄い

受賞商品や、定番商品が和菓子のため、洋菓子を扱っている印象は薄いようです。

⑤ パッケージやロゴと店のイメージの不一致

これまでの商圈が地元、市内メインかつ高齢者向けてあったため、**パッケージやロゴと店のイメージが統一されておらず、古い印象を与えてしまいます。**



課題解決方法

地区外での販路開拓

地域外からの洋菓子需要を取り込み、新規の顧客を取り込んでいくためにやるべきことは、

- SNS による情報発信
- 洋菓子店での修行の強みを活かし、ターゲットを絞り込んだ新商品開発
- 新商品開発と同時に、店舗や商品コンセプトを確立させ、ロゴ・パッケージのイメージチェンジであると考えます。

地区外のターゲットを呼び込むため、以上のプランが急務であります。

加えて、**2 年以内に “素材を一つに絞った和・洋菓子” を年に 1 度期間限定で販売し、素材のテーマは毎年変更する工夫をこらした商品開発をいたします。**

期間限定商品は、SNS やクチコミで投票してもらうなど、過去に行ったことのない顧客参加型の企画も併せて行います。

参加型の企画により、より当店を身近に感じてもらうことができると思っております。

また SNS 利用率の高い若年層の顧客獲得を図っていきます。



〒972-0251

いわき市遠野町入遠野字前田 111-2

TEL 0246-89-2285

代表 平子 裕道

創業以来 3 代に渡り、和菓子・洋菓子を提供しています。使用する材料は、お菓子に合った最高のものを厳選し、手間を惜しまずこだわりのお菓子に仕上げています。

補助事業の成果

本補助金でのとりくみ

【SNS、ポータルサイトによる店舗情報発信】

SNS 等による情報発信の一方、常連客や、近所の方々のなどのクチコミによる知名度と信頼度で販売を行っていたことに加えて、新規の若年層からの購入につながっております。

【店名オリジナルロゴ、パッケージの変更】

店名のオリジナルデザインでのパッケージ新を行いました。ゆくゆくは、当店の「ブランド化」につながると考えており、「贈答用」の商品に力を入れ、商圈の拡大につなげていくきっかけになったと思います。



【地域外での委託販売】

ぐるっといわきのサイトでの PR により新しい商圈（地域外）に対する知名度をあげ、若年層の来店につながっております。

今後の展望

幸せ作りのお手伝い

当店の経営理念である「**幸せづくりのお手伝い**」を継続するために、当店の菓子を食べたその先にある「おいしい笑顔」を常に心に留め、これからもお客様を大切にしていきたいと思います。また、昔ながらの伝統の味を継承しつつ、常に新しいものにも積極的に取り組み、提供し続けていきます。

シーンは様々ではあろうかと思いますが、その大切な場面に「いつも近くにある和洋菓子店」を展開し、地域に愛される店舗づくりをしていきたいと思っております。

【本補助金採択を受けて】

「和・洋菓子で楽しい時間を過ごし、笑顔になってもらう」そのお手伝いが出来ればと思っております。

県内外から足を運んで頂けるよう、当店をえらんでいただけるよう PR に努めて生きたいと思います。

【経営理念】

『幸せづくりのお手伝い』

お菓子食べる時は、どちらかというと楽しい、嬉しい時ではないでしょうか。

使用する材料は、作りたいお菓子に合った最高のものを厳選し、手間を惜しまずこだわりのお菓子に仕上げています。

「和・洋菓子で楽しい時間を過ごし、笑顔になってもらう」そのお手伝いが出来ればと思っております。お客様に食べていただくことで、笑顔になる幸せな時間を持つお手伝いをしたいと思います。

当店自慢のお菓子をどうぞ、ご賞味ください。